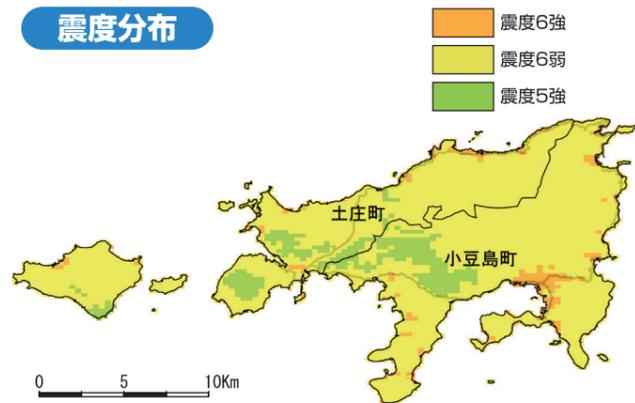


震度・津波

香川県の調査では、南海トラフで最大クラスの地震が発生した場合、小豆島では震度5強から震度6強の揺れが生じ、沿岸部では津波が発生する危険性があります。唐櫃地区でも、津波が予測されています。

震度分布



「津波浸水予測図」は、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。（出典：香川県）



※「この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（平成24情報、第930号）の一部を転載したものである。（出典：香川県）
※この津波浸水予測図は2013年3月現在のものであり、今後見直しが行われる可能性があります。

●香川県の津波浸水予測図は、以下のホームページで見ることができます。

香川県ホームページ / 香川県浸水想定図(南海トラフ地震(最大クラスの地震)) https://www.pref.kagawa.lg.jp/content/dir2/dir_2/dir_2_2_6/w00p3b150617141706.shtml



土砂災害警戒区域・特別警戒区域

土砂災害防止法による土砂災害警戒区域・特別警戒区域は土砂災害(急傾斜地の崩壊・土石流・地すべり)が発生した場合に、住民の生命または身体に危害が生じるおそれがある区域を指定したものです。普段から防災情報を収集し、早めの避難を心がけましょう。このマップに示した土砂災害警戒区域・特別警戒区域以外でも土砂災害が発生する場合があります。

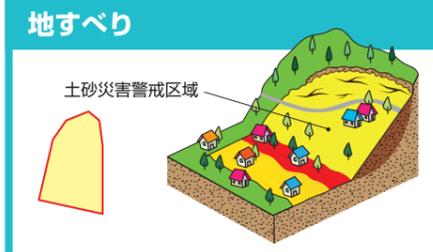
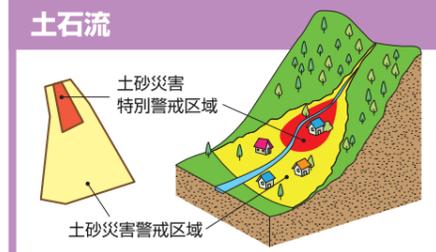
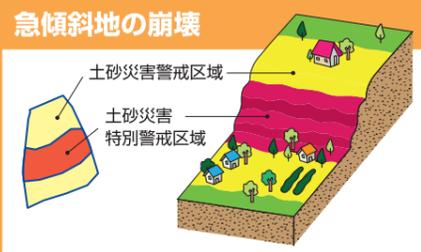


●土砂災害警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域であり、危険の周知、警戒避難体制の整備が行われます。

●土砂災害特別警戒区域

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域で、特定の開発行為に対する許可制、建築物の構造規制等が行われます。



千代田・唐櫃一号池 ため池ハザードマップ

対象池位置図



今後高い確率で南海トラフ地震が発生すると予測されています。また、近年では、時間雨量50mmを超える雨が頻発するなど、雨の降り方が、局地化・集中化・激甚化しています。農業用ため池「千代田池、唐櫃一号池」が南海トラフ地震などによって大きな被害を受け、堤防が決壊してため池から水が一度に流出した場合を想定し、そのはん濫水が到達する可能性のある区域の最大範囲と予測される浸水の深さを表示したものです。実際に、はん濫の影響がある範囲は、ため池の貯水状況、堤体の程度、周辺の土地利用の状況等により、これと異なる可能性があります。地震が起きたら「まずは安全な場所に逃げる事」が何より大切です。地域のみなさんでこの地図をご活用いただき、災害時の安全確保に努めてください。



地震時の心得10ヶ条

地震が発生したら、**落ち着いて早めの避難を心がけましょう。**千代田池、唐櫃一号池が決壊した場合、はん濫水は急勾配のため池下流の河川に沿って一気に流れてきますので、**特に早めに避難することが重要です。**

- 1 まず身の安全を!**
ケガをしたら火の始末や避難が遅れてしまいます。家具の転倒や落下物には充分な対策を。
- 2 すばやく火の始末**
揺れを感じたらすばやく行動。火元付近には燃えやすいものを置かない習慣を。
- 3 戸を開けて出口の確保**
震動でドアが開かなくなることも。戸を開けて避難口の確保を。
- 4 火が出たらすぐ消火**
万一出火しても天井に燃え移る前なら大丈夫。あわてず消火を。
- 5 あわてて外に飛び出さない**
飛び出しはケガのもと。冷静な判断を。
- 6 狭い路地やブロック塀には近づかない**
ブロック塀や自動販売機は転倒の恐れが。すばやく避難を。
- 7 協力し合って応急救援**
地域ぐるみで協力し合って応急救援の体制を。
- 8 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意**
居住地の自然環境を把握して二次災害防止の心掛けを。
- 9 避難は徒歩で**
マイカーでの避難は危険なうえ緊急出動の障害に。ルールを守る心のゆとりを。
- 10 正しい情報を聞く**
事実はひとつ。間違った情報にまどわされず的確な行動を。

わが家の防災メモ

避難場所
家族の集合場所

家族の連絡先				
氏名	電話(勤務先・学校)	住所	メモ	

親戚・知人の連絡先				
連絡先	電話	連絡先	電話	メモ